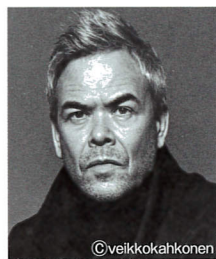


フィンランド放送交響楽団 & 五嶋 龍

フィンランドの気鋭ハンヌ・リントゥ率いるフィンランド放送交響楽団と圧倒的な人気と実力を誇るヴァイオリニスト五嶋 龍の共演で“究極のシベリウス”が実現する！森と湖の国フィンランドが生んだ偉大な作曲家シベリウス。若き日にヴァイオリンに憧れ愛した彼が、後に作曲家への道を進む生涯唯一の“ヴァイオリン”のための作品が、まさにこの協奏曲であった。「極寒の澄み切った北の空を、悠然と滑空する鷺のように。」と自身が語ったといわれる冒頭の北欧の大自然を思わせる凜とした息吹に引き込まれ、2楽章では白夜に神が歌うような優しさを金管との調和で語りかけ、活気的な民族的なリズムを振り切って最終章を駆け抜ける。その醍醐味はコンチェルトの最高傑作と疑う余地もない。驚異的なテクニックとずば抜けた表現力を持つ天才五嶋 龍によってどのような鷺が空を舞うのか。シベリウスを深く理解するフィンランドの名門オーケストラとの魂の共鳴に乞うご期待。序曲に若き日のシベリウスの軌跡を見る「エン・サガ」、後半にはチャイコフスキー不朽の名作「交響曲 第5番」。異郷の大地から湧き上がる響きが時空を超えた世界に貴方を誘う。



ハンヌ・リントゥ [指揮]

Hannu Lintu, Chief Conductor

シベリウス音楽院でチェロとピアノを学び、後にヨルマ・パヌラに指揮を師事。シエナでチョン・ミョンフンのマスタークラスに参加し、1994年にノルディック指揮者コンクールで1位を獲得。19/20シーズンはリントゥのフィンランド放送響の首席指揮者としての7シーズン目を迎える。ボストン響、デトロイト響、バリ管、オランダ放送響に再客演するほか、シカゴ響、モントリオール響、ウィーン・トーン・キュンストラ管などにデビューする。近年はハンガリー国立フィル、ボルティモア響、セントルイス響、シンシナティ響、新日本フィル、NDR響などに客演している。また22年1月からはフィンランド国立オペラの音楽監督に就任する。これまでに同劇場で「トリスタンとイゾルデ」「クレルヴォ」「ヴォツェック」などを指揮し、成功を収めている。またサヴォンリンナ・オペラフェスティバルでも、サッリネンの「クレルヴォ」、ヴェルディの「オペラ」などを指揮している。録音も多く、オンディーヌ、BIS、ナクソス、ハイペリオンなどからCDをリリースしている。



五嶋 龍 [ヴァイオリン]

Ryu Goto, Violin

五嶋 龍は、7歳でPMFにてパガニーニのヴァイオリン協奏曲第1番を演奏し楽壇デビュー。「五嶋 龍のオデッセイ」始め、JR東日本のイメージボーイや「題名のない音楽会」の司会などで注目を集める。今日、世界屈指のオーケストラ、芸術家たちとの共演、リサイタルに併せ、国際文化交流・教育・社会貢献活動を国内外に展開し、空手家、企業家としての顔も持つ。2020年のハイライトでは、11~12月にデビュー25周年リサイタル・ツアーを全国12か所で行う。録音はドイツ・グラモフォン専属契約/ユニバーサルクラシックスよりリリース。使用楽器は日本音楽財団貸与の1722年製のストラディヴァリウス「ジュピター」。ハーバード大学(物理学専攻)卒業。上海大学名誉客員教授。JKA(公益社団法人日本空手協会)認定参段。日英仏中語が堪能。ニューヨーク生まれ・在住。

[公式ウェブサイト] <https://www.ryugoto.com/>

[Twitter] @RealRyuGoto

フィンランド放送交響楽団 [管弦楽] Finnish Radio Symphony Orchestra



1927年に創立。フィンランド放送響(FRSO)はフィンランド国営放送(Yle)のオーケストラである。これまでの首席指揮者には、パーヴォ・ベルグランド、オッコ・カム、レイフ・セーゲルスラム、ユッカ=ベッカ・サラステ、サカリ・オラモらがいる。2013年からハンヌ・リントゥが同職を務め、21年からはニコラス・コロシが引き継ぐ。2019/20シーズンはYleの委嘱による4つの作品を世界初演するほか、シューマンの壮大な「ゲーテのファウストからの情景」、ショスタコーヴィチの交響曲、協奏曲などが呼び物となっている。指揮者にはサロネン、プロムシュテット、サラステ、オラモ等、世界の名高いマエストロが招待されている。FRSOは定期的にツアーを行い世界のすべての地域で演奏している。2019/20シーズンのハイライトは、首席指揮者ハンヌ・リントゥと中欧ツアーと日本ツアーである。CD録音も多く、BBCミュージック・マガジン賞、アカデミー・シャルル・クロ賞などの主要な賞を獲得している。

世界を変える
一歩をあなたと

FUJITSU

shaping tomorrow with you

私たち富士通グループは、AI、IoTなど最新のデジタルテクノロジーの力で「持続可能な開発目標(SDGs)」に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS